

なごやかクラブ南社会見学会

人を支えるパートナーへの
感謝深まる

令和7年7月16日（水）、なごやかクラブ南社会見学会が行われ、総勢149名がバス4台に乗りこみ、一路長野県へと向かいました。東名高速や中央道を乗り継ぎ11時ごろに着いたのは、日本聴導犬協会です。

あまり聞き慣れない聴導犬ですが、盲導犬や介助犬と同じく身体障害者補助犬として全国各地で育成、訓練活動が行われているそうです。

耳の不自由な方に音を知らせて生活をサポートするのが聴導犬のお仕事だそうです。赤ちゃんの泣き声やFAXの呼出音、ドアのチャイムなどなど、離れた所で音がした場合でもユーザーの所まで行つてタッチするなどして教えて、音源まで誘導するそうですが、すべての判断を犬に任せることになるので、人との信頼関係がとても大切なのだそうです。

聴導犬の訓練を見学した後は、駒ヶ



聴導犬とのふれあい



聴導犬のデモンストレーション



聴導犬から学ぶ
“信頼”のかたち